

News Release

プルデンシャル生命保険株式会社

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー
<http://www.prudential.co.jp>



Prudential

2007 年 10 月 23 日

プルデンシャル生命保険株式会社

普通救命講習を全社を挙げて受講 創業 20 周年記念事業で

プルデンシャル生命保険株式会社（本社 東京都千代田区、代表取締役社長兼最高経営責任者 三森 裕）は創業 20 周年（10 月 14 日）を迎え、社会貢献の記念事業として 9 月から 12 月にかけて全社を挙げて普通救命講習を受講することとし、プルデンシャル生命保険本社では、10 月 20 日（土）午前 9 時から麹町消防署救急係職員および財団法人東京救急協会の指導員、計 5 名の指導の下、60 名の社員と家族が普通救命講習を受講しました。

弊社は、地域社会への貢献活動の一つとして親会社のプルデンシャル ファイナンシャルの呼びかけのもと、毎年 10 月にグローバル・ボランティア・デーを実施しています。プルデンシャル生命保険が創業 20 周年を迎えた本年は、全社を挙げて普通救命講習を受講することとし、本社および全国の支社にて 9 月より順次受講を開始しました。この活動では、受講費用を会社が負担することにより社員の受講を促進、最終的には全国約 70 箇所総勢約 2,500 名が参加する予定です。また、年内を目途に本社および全 86 支社に AED（自動体外式除細動器）を設置します。

普通救命講習の受講を決めた背景には、弊社の支社網が地方の中心都市に集中しており、比較的人口密度の高い地域にあることから社員の通勤時や営業活動時、あるいはボランティア活動など人が多く集まる場所において、事故が起きた際に人命救助ができる術を会得しておきたいという社員の強い思いがあります。事実、子どもが野球やサッカーをしている最中にボールが胸に当たり心肺停止状態になるといった事故を耳にすることも増えてきました。AED については 2004 年 7 月からすでに一般市民が使えるようになり、また 2006 年からは大手鉄道事業者が全駅に設置するなど急速に普及してきました。

社長の三森 裕は「創業以来掲げてきた“家族愛・人間愛”という基本理念は、自ら率先してボランティア活動を行う弊社の企業文化に結びついています。創業 20 周年を迎えた弊社が、社員の普通救命講習受講を後押しすることによって、社員が今後も一層地域社会へ貢献できる一助となることを願っています」と述べています。

以上